

講座

# Web 広告

村山 哲治

## そのSEO対策 効果が薄いですよ

### ■SEO対策をしても効果が上がらないのはなぜ

サイトの運営に関して「SEO対策をしても効果が全然上がらない」「やはりSEO専門業者に依頼しないとだめなのか」といったご相談をよく受けます。

そうした課題における原因の多くは「意味のないSEO対策」を行っていることによるものです。SEO対策に意味のないものってあるの？と思われるかもしれませんが5年前には、SEO対策の主流といわれていたものが、いまでは効果のないやり方になってしまったということがたくさんあるのです。

つまり、SEO対策にはトレンドがあり、昔は効果があったといわれた対策をせよと今でも継続しているのでは効果が出ないというわけです。

そこで今回は、こうしたら効果が出るという話ではなく、こういうことを行ってもあまり意味がないですよというSEO対策の話をしてみたいと思います。

### ■効果があったSEOがなぜ効果が出なくなるのか？

これもよくお聞きする質問なのですが「SEO効果があると言っていたのに、いつ、だれがそういうルールを変えているの？」「ほかのサイト運用者はどうやってそれを知っているの？」というもの。

まず、Googleによって検索順位を決めるためのアルゴリズムが年に数回、不定期にアップデートされており、それによってサイトの評価つまり検索順位が決められているということを認識しておくことが大切です。

アップデートの内容を知るには、Googleの公式サイト「Official Google Webmaster Central Blog」で確認します。ただし、これは英語版ですので日本語版をお勧めします。ただこうした公式サイトはある程度SEOの知識があることを前提に記事が書かれていますので、できればこうした公式サイトの外にさまざまなSEOに関する情報や解説をしているサイトがあるので、自分が分かりやすいと思うサイトをいくつか決めて定期的にチェックすることが望ましいと思います。

こうしたサイトではGoogleのアルゴリズムが変わった際の対応方法などの情報を得ることができます。ちなみに、このアルゴリズムの変更は不定期にあり、それによって検索順位がある日突然大きく変わるということも珍しくありません。よく知られたところでは次のような名前のアップデートがありました。**バンダアップデート**

日本では2012年7月に導入されたもので、低品質なサイトを上位に表示しないために実施されたアップデートです。コンテンツに専門性が低かったり他のサイトからのコピペが多かったり、広告の比率が高いようなサイトは低品質とみなされます。

#### ペンギンアップデート

2012年4月に導入され、2018年9月までに7回実施されたアルゴリズムです。SEO目的のユーザーの役に立たない低品質なコンテンツを有するサイトなどを排除し、検索結果の品質を高めるために開発されたもの。

これらのアップデートはごく一部のものです

すが、その後も、バージョンを上げながら継続されているものもあります。

## ■意味のないSEO対策の代表的なもの

ではそうしたアルゴリズムの変化で、今となつては無駄な徒労になっている代表的なSEO対策をいくつかご紹介いたします。

### ・キーワードの詰め込み

SEO対策=キーワード対策という認識がずいぶん前から定着しています。そこから端を発しコンテンツに必要な以上のキーワードをちりばめていくというやり方がいまだに行われています。これは効果がない代表といつていいでしょう。むしろそれはGoogleから大幅に検索順位を落とされるか圏外となるペナルティを受ける可能性があります。

とくにtitleタグに複数のキーワードを入れないことです。1コンテンツ1キーワードが基本です。

### ・キーワード出現率の調整

ページ内にキーワードが5%くらいの頻度で出てくるように文章を調整する対策です。SEO対策の手法として検索するといまだにこれを推奨する記事を多く見かけます。また、キーワードの頻出度を無料で調べることができるチェッカーサイトなども紹介されていたりします。過剰にキーワードを使っているかを調べるにはそうしたチェッカーも使いたいとは思いますが、今はタイトルや見出しなどにキーワードが適切に使用されているかがポイントです。

### ・キーワードのmetaタグ設定

キーワードに関連してもうひとつ。キーワードのmetaタグ設定は検索順位には一切影響しないので行なう必要はありません。もともとは、metaタグに主要キーワードを10個ほど入れておくと、ページにそのキーワードに関連する情報がありますよと検索エンジン側に知らせるために使っていたものです。しかし、いまや検索エンジンのページ内のコン

さまざまなサイトにSEO関連情報



【公式】Google 検索セントラルブログ  
<https://developers.google.com/search/blog>



海外SEO情報ブログ  
<https://www.suzukikenichi.com/blog/>



SEOラボ  
<https://seolaboratory.jp/>

テンツ認識精度が格段に向上したため、SEOへの効果はなくなりました。

### ・長文のコンテンツ

昔ながらの対策として情報量が多い「長文コンテンツ」はSEOに有効という認識がいまだに根強いようですが、既にSEOでは文字量は関係がありません。

コンテンツには「～とは」検索されるようなユーザーの疑問や知りたい情報に答えているかが問われるため、情報内容や更新頻度などのほうが重要です。

### ・自作自演の被リンク設定

もともとは多くのサイトからリンクされている(被リンク)サイトは情報価値があるとみなされるとして、SEO対策の筆頭格だった時代もありました。そのため、ただの被リンクを獲得するためにリンク集のようなサイトや意味のないリンクばかりの自作自演サイトが急増し、いまやそうした関連性のないサイトからのリンクがむやみに貼れていると、これもGoogleからペナルティを受ける可能性があります。

リンクを貼る場合は、関連性があるものに絞ることです。

いかがでしょうか、以前から行っているという理由で効果が薄いSEO対策行っていないでしょうか。サイトの流入を増やす重要な施策ですので、常に新しい情報をキャッチアップすることも大切ですね。

(東京ドアーズ/人間力教育センター 代表)